知財戦略と契約実務をボーダレスにこなすには？
実践的なケーススタディを登載！

オープンイノベーション 時代の技術法務

スタートアップの知財戦略とベストプラクティス

弁護士法人内田・鮫島法律事務所
編集代表 **鮫島正洋**

2024年 6 月刊　A5 判　392頁　定価 4,840円(本体 4,400 円)　978-4-8178-4964-9　商品番号:40993　略号:オープン

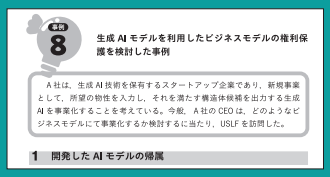
実務の流れで理解する18のスタートアップ 成功事例

事　例
スタートアップからの具体的な相談に基づき、様々なビジネスステージを想定した事例を収録！

会　話
会話の流れで、各ビジネスステージに応じた知財戦略の立て方と契約実務の留意点が分かる！

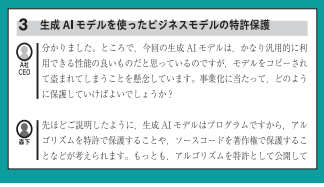
ここでの考え方
場面ごとに「ここでの考え方」を示し、知っておくべき知財・法務の知識とポイントを解説！

技術法務のポイント
「技術法務のポイント」では、事例ごとの要諦、技術法務のエッセンスがすぐ分かる！


事例 8　生成 AI モデルを利用したビジネスモデルの権利保護を検討した事例

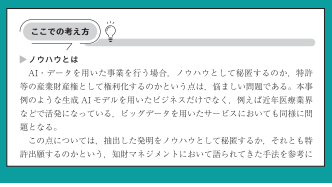
A 社は、生成 AI 技術を保有するスタートアップ企業であり、新規事業として、所望の物性を入力し、それを満たす構造体候補を出力する生成 AI を事業化することを考えている。今般、A 社の CEO は、どのようなビジネスモデルにて事業化するか検討するに当たり、USLF を訪問した。

1　開発した AI モデルの帰属


3　生成 AI モデルを使ったビジネスモデルの特許保護

AI CEO　分かりました。ところで、今回の生成 AI モデルは、かなり汎用的に利用できる性能の良いものだと思っているのですが、モデルをコピーされて盗まれてしまうことを懸念しています。事業化に当たって、どのように保護していけばよいでしょうか？

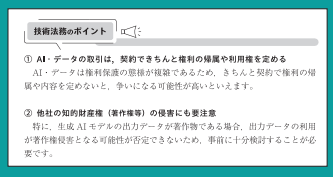
AIT　先ほどご説明したように、生成 AI モデルはプログラムですから、アルゴリズムを特許で保護することや、ソースコードを著作権で保護することなどが考えられます。もっとも、アルゴリズムを特許として公開して


ここでの考え方

▶ノウハウとは

AI・データを用いた事業を行う場合、ノウハウとして秘匿するのか、特許等の産業財産権として権利化するのかという点は、悩ましい問題である。本事例のような生成 AI モデルを用いたビジネスだけでなく、例えば近年医療業界などで活発になっている、ビッグデータを用いたサービスにおいても同様に問題となる。

この点については、抽出した発明をノウハウとして秘匿するか、それとも特許出願するのかという、知財マネジメントにおいて語られてきた手法を参考に


技術法務のポイント

① AI・データの取引は、契約できちんと権利の帰属や利用権を定める

AI・データは権利保護の態様が複雑であるため、きちんと契約で権利の帰属や内容を定めないと、争いになる可能性が高いといえます。

② 他社の知的財産権（著作権等）の侵害にも要注意

特に、生成 AI モデルの出力データが著作物である場合、出力データの利用が著作権侵害となる可能性が否定できないため、事前に十分検討することが必要です。

▶▶技術法務の思考プロセス・考え方がわかる！◀◀

【事例抜粋】

- 顧客の技術や事業の方向性等を踏まえ，第三者との契約を見据えて，契約条件や特許出願の要否等を検討・提案した事例
- スタートアップの技術に関心を持っているが，下請け相手の契約書ひな形から離れられない大企業を相手に契約交渉をした事例
- 大企業からスピンオフして創業するスタートアップ企業で，大企業から譲渡を受ける特許権を選定し，特許権保有態様及びVC からの投資契約を検討した事例
- 非IT 系企業による新規IT サービス立ち上げを支援した事例
- 生成AI モデルを利用したビジネスモデルの権利保護を検討した事例
- 大学発スタートアップ企業で，大学から受けるライセンスの条件を検討し，ライセンス料の一部をストックオプションに置き換えた事例
- 汎用性がある技術に関し多数のユーザー企業との共同開発を行うために，知的財産権の帰属，ライセンス条件等を整理した事例
- ソフトウェア・システムの不具合等に係る紛争に対応した事例
- ベンチャーキャピタル（VC）のニーズを踏まえてテック系スタートアップの知財DD を実施した事例

基本的理論の解説

第２版 技術法務のススメ
事業戦略から考える知財・契約プラクティス

弁護士法人内田・鮫島法律事務所 **鮫島正洋** 編集代表

2022年7月刊　定価 4,950 円(本体 4,500 円)
978-4-8178-4809-3

日本加除出版
〒171-8516　東京都豊島区南長崎 3 丁目 16 番 6 号
営業部
TEL:03-3953-5642
FAX:03-3953-2061
営業時間：月～金（祝日除く）9:00-17:00
X（旧 Twitter）@nihonkajo
www.kajo.co.jp
日本加除出版ＨＰ